

多職種連携推進・研修部会の第2回研修会が開催されました



2018年10月26日

第2回多職種連携研修会

さる10月26日上越市市民プラザ第2会議室にて第2回多職種連携研修会を開催しました。

24名の受講者からご参加いただき、退院前カンファレンスにおける地域連携連絡票の活用について話し合いを行いました。

○第2回研修会内容

【テーマ】退院前カンファレンスについて学ぶ

第2回研修会では、退院前カンファレンスの目的や意義についての講義を行いました。また、退院前カンファレンスのイメージを持っていただくため、受講者のかたも含めた14名で職種を配役し、地域連携連絡票を用いた模擬退院前カンファレンスを行いました。

その後グループワークを行い、本人・家族が安心して退院できるようにするために大切だと思うこと、退院前カンファレンスで地域連携連絡票をどのように活用していくことができるか等について話し合い、以下の意見が出ました。

～ グループワークから ～

- ・ご本人・ご家族が退院後どのような生活をしたいかを把握し、目標へ向け、多職種の取り組みや考え方を共有することが大切。
- ・入院前の生活状況を踏まえた上で在宅での注意点を説明できると、より安心して退院することができる。退院後の生活が具体的にイメージできるようにすることが大切。
- ・退院前カンファレンスに地域連携連絡票を間に合わせることは大変だが、作成することで事前に情報の整理ができ、短時間でより濃密なカンファレンスができるのではないか。
- ・地域連携連絡票は、各専門職で分担して作成することで、負担を減らすことができるのではないか。カンファレンスでは入院前と変わったところを重点的に説明し、その場で追加・修正してもいいのではないか。

○第3回研修会のご案内

12月7日(金) 19時から20時30分

上越市市民プラザ 第3会議室

第3回は、「在宅サービス担当者会議について学ぶ」をテーマに、地域連携連絡票を用いた模擬担当者会議を行います。